

滋賀県で培った技術で世界の環境改善を目指す

WEF技術開発 株式会社

龍江環保集団(黒竜江省ハルピン)との下水処理技術の共同開発と
広東綠晟環保股份有限公司(湖南省)との廃棄物リサイクル事業

滋賀県水環境ビジネス海外展開事業化モデル事業補助金(令和元年度)

実施体制

WEF技術開発株式会社

プロジェクトの概要

下水処理場の設計・施工・管理を中国東北3省および内モンゴルで展開している龍江環保集団の課題である、下水処理場での余剰汚泥の効率的な分解・たい肥化のために「 α -Gaia」の試験装置や、省エネ対策としてウルトラファインパブル発生装置を導入し、同社と共同研究をスタートさせました。これにより、寒冷地域での下水処理での発生汚泥削減と発生汚泥のリサイクル技術及び省エネ技術の確立を目指します。



龍江環保集団への技術指導



龍江環保集団の研究者へ装置の基礎を指導



市政府に技術説明

Only Oneの技術を中国に。中国企業が抱える課題を共に解決

中国におけるビジネス課題

中国での環境ビジネスはとても複雑です。発生状況や原因、処理目的などを把握したうえで、適切な技術を提案し共同で開発するプロセスが必要です。しかし、中国企業の経営者は利益優先で、試験プロセスを省略し既製品での対応を求める傾向にあります。また日本と違い、ニーズや法規制に対する遵守意識が企業ごとに異なるため、より掘り下げて課題を理解する必要がありますが、外国企業への警戒心もあり、本音で協議ができるようになるまでに相当時間がかかります。そのため、関係が構築できていない初期段階で聞いた課題をもとに技術提案しても、実際のニーズと乖離が生じるということはよくありました。

課題への対応と中国でのビジネス展望

Only Oneの技術も大事ですが、その技術が相手のニーズにどのようにマッチするか具体的に提案しないと商談が進まないことがよくわかりました。データの積み重ねと本音で協議ができる関係を構築することが大事になるため、単に技術を売るだけでなく、その企業が抱える課題を一緒に解決する、という意識を持つようにしています。

また、中国政府は環境規制を強めており、世界的にも厳しい環境基準を制定しています。そのため、企業の経営者の意識も変わりつつあり、今後は、産業廃棄物処理事業者やリサイクル事業者をターゲットに事業展開することを検討しています。中国企業は、環境問題に関する企業間の連携が希薄なため、弊社リードで深セン地域の企業を集めて環境課題に関して協議しました。参加企業のうち、湖南省の産業廃棄物処理事業者とは共同で事業を実施することを検討中です。

Water・Energy・Foodの地産地消技術の開発。地域や企業にあった技術を提案

公的支援を活用するメリット

ビジネス展開を支援する様々な公的支援を活用していますが、それにより企業や関連団体との接触の機会が増えます。国や企業によって抱えている課題や背景が違うので、それらの情報を効率的に収集できることが大きな財産となっています。

今後の海外事業の展望

環境改善=世界中の人々の生活・健康レベルを向上する、ということです。Water・Energy・Food(WEF)を地産地消の形で課題を解決していく、そのための技術開発が弊社の最終目標です。ビジネスを通じて、様々な国の環境課題や実情を知ったので、時間はかかりますが、その地域や企業に適した技術を開発できるようになりました。今後は、中国だけでなくベトナムでも日系企業や大学と一緒に汚泥の減容化や水草のたい肥化に関する事業を検討しています。また将来的には、環境技術を有する企業が連携して、開発途上国の環境課題を総合的に解決するプロジェクトが実現すれば面白いと考えています。